

アレルギー性鼻炎・気管支喘息の 主な原因アレルゲン

ImmunoCAP®
Is it allergy?

樹木

ハンノキ

全国に自生。飛散時期はスギよりやや先行する。



スギ

スギ花粉症の約60%がヒノキにも感作されている。



ヒノキ

スギ花粉飛散終了後も症状が続く場合は、ヒノキ花粉症の可能性。



シラカンバ

北海道の花粉症の代表的なアレルゲン。



イネ科

カモガヤ

夏の花粉症の代表的なアレルゲン。



ハルガヤ

道端に生える多年草。



オオアワガエリ

牧草として広く栽培されている。



ナガハグサ

牧草として導入されている外来種。



雑草

フタクサ

蘆刈、河川敷、荒地などに自生する秋の花粉症の代表的なアレルゲン。



ヨモギ

フタクサとならび、秋の花粉症の代表的なアレルゲン。



セイタカアキノキリンソウ

虫媒花であるが、アレルギー症状を起こすことが報告されている。



カナムグラ

フタクサ、ヨモギとともに秋の花粉症の原因となる。



■ アレルゲンカレンダー (注意が必要な時期)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
樹木		ハンノキ	スギ	ヒノキ	シラカンバ							
イネ科				カモガヤ、ハルガヤ、オオアワガエリなど								
雑草								フタクサ、ヨモギなど				

Phadia

アレルギー性鼻炎・気管支喘息の 主な原因アレルゲン

ImmunoCAP[®]
Lab Allergy

カビ

クラストリウム (カビ)

空中では室内外ともに最も多く
検出される。



アルテルナリア (カビ)

アレルギー性鼻炎・気管支喘息の
アレルゲンとしても重要。



ペニシリウム (カビ)

ハウスダスト、空中(特に室内)に
広く分布する。



アスペルギルス (カビ)

気管支喘息、アレルギー性気管支肺ア
スペルギルス症の原因アレルゲンでもある。



資料提供/高見真介(カビ相談センター)

虫

ゴキブリ

虫体・排泄物を吸入することで、アレルギー性
鼻炎、気管支喘息を発症。



カ

ダニやスギに続いて高い特異的IgE陽性率を
示す。



資料提供/世嘉敬彦

ユスリカ

死骸が細かい塵となって舞い上がり、吸入する
ことでアレルギー性鼻炎や気管支喘息を発症。



セスジユスリカ

資料提供/中島一朗

室内塵

ネコ

動物の中でもアレルゲン性が強く、フケの成分
が飼育者の衣類に付着して持ち込まれることも。



イヌ

イヌのフケの成分が主要なアレルゲンであり、
飼育者の衣類に付着して持ち込まれることも。



ダニ

室内塵の中で最も主要なアレルゲン。



アレルゲンカレンダー (注意が必要な時期)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
カビ					クラストリウム、アルテルナリア、 ペニシリウム、アスペルギルス			クラストリウム、アルテルナリア、 ペニシリウム、アスペルギルス				
虫					カ					ユスリカ		
室内塵	室内塵(ネコ、イヌ、ダニ)											